

講義科目	: 公衆栄養学	単位数	: 2
担当	: 生川 美江	学習形態	: 選択科目
			栄養士免許必修科目
		実務経験	: 有

講義の内容・方法および到達目標

公衆栄養学は、国や地域、集団の健康・栄養問題を解決する方策を学ぶ教科です。本講義では、公衆栄養の歴史や成果、および食料需給表、国民健康・栄養調査等の既存資料から国民栄養の変遷や現状を知り、現状を理解することに努めます。そして疾病予防・健康増進のために食生活はどうあるべきか、栄養士として健康づくりにいかに関わるかについて考えます。具体的には、次の3点ができることを目指して学修します。

- (1) 公衆栄養の対象と目的について説明できる
- (2) 国民栄養の現状と課題を理解し、対策について説明できる
- (3) 健康づくりのための公衆栄養活動について説明できる

授業計画

- 第1回 オリエンテーション、公衆栄養学の概念1（公衆栄養学の意義と目的）
- 第2回 公衆栄養学の概念2（公衆栄養活動の歴史）
- 第3回 公衆栄養マネジメント1（公衆栄養活動の進め方）
- 第4回 公衆栄養マネジメント2（公衆栄養プログラム）
- 第5回 栄養士・管理栄養士制度、栄養士業務
- 第6回 栄養疫学1（栄養疫学の指標）
- 第7回 栄養疫学2（食事調査）
- 第8回 わが国の健康・栄養問題の現状と課題1（疾病構造・栄養摂取の変化）
- 第9回 わが国の健康・栄養問題の現状と課題2（食品摂取・食習慣の変化）
- 第10回 わが国の健康・栄養問題の現状と課題3（食料需給と自給率）
- 第11回 わが国の健康・栄養政策1（関連法規、食品表示）
- 第12回 わが国の健康・栄養政策2（健康日本21、特定健診・特定保健指導）
- 第13回 諸外国の健康・栄養政策
- 第14回 国民健康・栄養調査
- 第15回 国民健康・栄養調査（発表）

教材・テキスト・参考文献等

- ・テキスト
友竹浩之・郡俊之/編、『栄養科学シリーズNEXT「公衆栄養学概論」』
講談社 *第1回講義に必ず持参すること
- ・資料・ワークシートを随時配布します

成績評価方法

- ・平常点（50％）、定期試験期間中に実施する筆記試験（50％）で成績評価を行います。100点満点で60点以上を合格とします
- ・毎回出席をとります。欠席回数が6回になった場合は評価対象外です
- ・状況に応じ、小テストを実施することがあります
- ・平常点は出席状況および講義中に課す課題や小テストを総合的に評価します

実務経験

管理栄養士として、市役所（保健センター）に勤務し、母子保健法・高齢者の医療の確保に関する法律に基づく健康教室の運営を行っていました。また、母子・成人に対し、年間1000件余の栄養相談対応をしていました。これらの経験を生かし、集団の疾病予防・健康増進に対する理解を深めるよう努めます。